

人生ハンド仏句

第67号

H.19.10.1
(毎月1日発行)

編集・発行
玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX (0765)22-2268

メールアドレス

kokorochanthk@ybb.ne.jp

ホームページアドレス

<http://www.geocities.jp/sinjyoujitoiyama108/>

おだやかな心

こそ仏心

住職 谷川寛俊

人は他人に悩みを相談する前に自分なりの答えを持つとうとするものです。

それが、体の病であれば病院に行つて薬をいただいで飲む、と言つたように対処することは簡単ですが、これが人間関係の問題となりますと相手の心持ちもありませんから、そううまくはいきません。

よく、「自分が変われば相手も変わる」と言うけれど、私が変わつて相手に接しているのに、相手は一向に変わつてくれないと嘆く人がいます。しかし、ここで言う「自分が変われば相手も変わる」と言うのは、相手に対して必要以上のご機嫌を伺つということではあり

ません。

ほうへんほん

法華経の方便品に「言辞柔軟、

えつかしゅうしん

悦可衆心」と説かれているように、

言葉おだやかにして笑顔で接すれば、その言葉を受けた人の心、即

ち仏心は、大いなる喜びを受けると言つのです。つまり、**相手を慈**

しむ心で見ることが大切であると

言つことを、この経文は教えているのです。そこで大切なのは、「自分が変わる」というのは、今までの自分の心のあり方を省みると言

うことだと思ひます。

物事には必ず原因があつて、結果があります。本当に自分は百パーセント悪くないか、いやもしかしたら・・・

こつした、ちよつとの心(寸心)に気付くことによつて自分が変わるのです。自分が変われば今まで自分で見えていた景色が変わるのです。

日蓮大聖人は、立正安国論に「汝

早く信仰の寸心を改めて速やかに

実乗の一善に帰せよ、然れば則ち

三界は皆仏国也」と述べておられ

ますように、ちよつとした自分の

心のあやまりに気付き直してい

れば、私達の住んでいるこの世界は

仏国土(浄土)となるのです。その

為の一番の近道は、南無妙法蓮

華経と唱えることなのだよ、とお

さとしになつておられます。

つまり、**私達は日常生活の中で、お互い相手をののしり、自我を**

通そうとしていることが、**実はお互**

いの幸せを遠ざけているのだと言

うことに、一日も早く気付くこと

を誰よりも仏様は願つておられる



心は見えないなんてウソだ

顔に見える 態度に見える